

憲法改正あるある # 10 (北朝鮮バージョン)

広告代理店マンが説き明かす、「北朝鮮が攻めてくる」と憲法

9条

構成：A 4 表面、「『漫画入りタイトル』 1 コマ」 + 「『漫画本編』 7 コマ」 = 8 コマを想定。裏は説明など柔軟に活用。

登場人物： A (広告代理店マン) S (その彼女) 特別出演：ヘルマン・ゲーリング

F1 S「北朝鮮が攻めてきたどうするの？ ミサイルを撃ってきたら？」

F2 A「(産経新聞2017年5月14日によれば、) 自衛隊の軍事力は世界第7位、北朝鮮は第23位。今の憲法9条のままでも自衛権があるから、攻めてきたら追い返せばいい。憲法を変える必要は全くない」

F3 A「また、北朝鮮はアメリカにやられないために核ミサイルを開発しているのであって、日本に撃ってはこない。こんな言葉を知っているかい？」 S「？」

F4 A「『国民を戦争に巻き込むのは常に簡単なことだ。自分たちが外国から攻撃されると説明するだけでいい。この方法はどこの国でも同じように通用するものだ』」

F5 A「世界で5-8000万人が死んだ第二次大戦に世界をひきずりこんだナチスドイツのNo2、ヘルマン・ゲーリングの言葉だ。(ゲーリングのように、) 今、9条を変えて自衛隊を戦争できる本物の軍隊にしたい人たちが、北の脅威をいたずらにあおってるんだよ」

F6 S「じゃ、これも、モリカケ真っ青の〇〇だってこと？」

F7 A「何が国難か、この際、しっかり考えた方がいいかも・・・」